



2019年6月24日

## SC キャピタル・パートナーズが

### 8 億 5,000 万米ドルの RECAP V ファンドについて発表

シンガポールの機関投資家向け不動産投資運用会社の SC キャピタル・パートナーズ・グループ（以後「SC キャピタル・パートナーズ」）は 2019 年 5 月 22 日（シンガポールにて）、5 号ファンドとなる一任運用不動産プライベート・エクイティ・ファンド「リアル・エステート・キャピタル・アジア・パートナーズ V L.P.」（RECAP V）が最終クロージングを迎えたと発表しました。調達資本の総額は 8 億 5,000 万米ドルとなり、これはファンドのエクイティ・コミットメントの 6 億 5,000 万米ドルと既存の RECAP V 投資家の共同投資持ち分による 2 億米ドルで構成されています。

RECAP V は 2019 年 5 月 21 日に最終クロージングを迎え、北米、欧州、アジア太平洋の機関投資家から資金が集まりました。これには、公的・民間年金基金、大学基金、資産運用会社、民間財団、ファミリーオフィス、保険会社、ファンド・オブ・ファンズが含まれます。

「RECAP V の 82%を占める既存投資家の皆様には、継続的な信頼とご支援に深く感謝致します。新たなリミテッド・パートナーの皆様には、温かい歓迎の言葉を申し上げます。当社は、投下資本に対する起業家的でありディープバリュ投資アプローチを通して魅力の高いリスク調整後リターンを継続的に提供するという決意を堅持していきます」と、SC キャピタル・パートナーズの会長で創立者の Suchad Chiaranussati（スチャッド チアラヌサティ）氏は述べています。

RECAP V の投資戦略は、すでに良好な成果を上げている先行 RECAP ファンドと類似しており、アジア太平洋全域にわたる不動産投資のポートフォリオを取得することを重視し、過小評価されている資産、経営が不適切な資産、ディストレスト資産、スペシャル・シチュエーションをターゲットとした規律ある投資アプローチを実行します。

「当社は、アジア太平洋地域の大半の市場でバリュエーションが高水準にあることを引き続き確認しているため、慎重な姿勢を取っていきます。レバレッジは低水準に維持し、ディフェンシブな資産クラスに対し規律ある投資を行います。当社は今後数年内に市場がやや不安定化すると予想しており、RECAP V は、市場のそのような機会を適切に捕捉できるように構成されています」と、Suchad Chiaranussati（スチャッド チアラヌサティ）氏は語っています。

RECAP V は既にこれまでにオーストラリア、日本、中国、東南アジアで 10 件の投資を完了しています。これには、中国の物流倉庫、オーストラリア・ブリスベンの高齢者住宅、そしてオーストラリア・キャンベラと日本の東京中心部のオフィス資産が含まれます。

「当社チームが既に RECAP V の資本の 2 億 8,000 万米ドル以上を域内各地の質の高い投資先に投下してあることを、喜ばしく思います」と、Suchad Chiaranussati（スチャッド チアラヌサティ）氏は語っています。

<この件についてのお問い合わせ先>

SC キャピタル・パートナーズ・グループ

Liwen Ho

Director, Investor Relations

No. 2 Nassim Road

Singapore 258370

Cellphone: (65) 8428 6021

Direct: (65)6715 0562